



## 「会員増強とCLP」

地区クラブ奉仕・拡大増強委員会  
委員長

川上 善司

(大阪平野RC)



8月は「会員増強・拡大月間」であります。会員増強の重要性、具体的な目標、退会防止等、各クラブに於いて意識を高めていただく期間であります。

ロータリーの最大の資産は個々のロータリアンであり、その源となるのは会員増強です。現在ロータリーが直面する最大の課題の一つは会員増強にあります。過去10年余、ロータリーは既存のクラブにおける会員減少を体験してきました。

これらの要因の背景には社会の急激な変化があります。少子高齢化の時代、高度IT化時代、経済的低成長時代、価値観の多様化、世界的なグローバル・スタンダードの時代の到来などです。各クラブはこの時代の変化に対応すると共に、地域のニーズに応じたクラブの在り方を求めていかなければ、会員増強も退会防止も望むことは出来ません。

世界のロータリーでは、東欧やその他の地域における拡大活動の結果、会員数は増加に転じつつあります。2660地区もはじめて会員数で純増になるようです。それは

僅かな数に過ぎません。しかしそれはロータリーの将来に対する警鐘の役割を果たすものです。

今世紀を通じてロータリーが繁栄するためには、会費を納入するだけの会員ではなく、必要としているのは、ロータリーの奉仕活動を通じて、地元地域社会や世界社会に鋭意奉仕できるロータリアンであります。会員増強は単なる会員数増加という数の問題ではなく、クラブ会員の質の向上と組織強化、活性化の為の活力維持が期待できます。

当地区では、昨年の地区大会に於いてCLPの導入が決議されました。各クラブからの依頼でCLPの卓話やフォーラムへ参加致しましたが、訪問クラブでは、積極的に導入を考えられCLP委員会等を創設され、検討段階に入っておられます。今期は多くのクラブが導入に向かったの対応をされる事と考えられますが、地区研修委員会と共にクラブ奉仕・拡大増強委員会が窓口として、より具体的なクラブの運営が出来るよう、各クラブの意向を尊重しながら地区委員会との整合性などを図ってまいります。